

ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 129 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2022 年 07 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

最短の梅雨が明けて☀

6月の定例作業日(6/28)は、

前日に梅雨明け発表(観測史上最短とのこと)！暑い陽射しの中での参加者は21名。林内班14名、ゴミ班7名。

林内班は、主に築山の西側区域で作業。ゴミ班は、東西通り～東京狭山線～サッカー場(休憩)～湿地～霊園通り～(休憩)新園路～中央通り。すなわちコース記号は、イ-K-L-F-G-O-(0')-P'-a-a'-ロ-C-U-C-i-j-L-K。特記事項は以下の通り。

①東京狭山線シェルター北側のオオブタクサ~目立つものを除去(5月末に除去した後から生えてきたものなど)。

②k地点ベンチ脇のコナラが、キクイムシにやられて、粉吹き状態。

③「湿地」は干からび状態。



[6/28 集合写真]

まずは、**フミリンさん**からの感想です。『今年は最も早く27日に梅雨明け宣言が出ました。朝から強い日差しの猛暑日。

今日の作業の過酷さが想像さ

れます。

林内作業班14名、ごみ拾い班7名で作業開始。

カルチャーパークが整備されて以来、ゴミ投棄は確実に減っています。整備された公園、人が集まり、人の目が行き届く公園にはさすがにゴミを捨てづらくなるのでしょうか。

歩き始めると、間もなく、まだ買収されていない畑で、枯草の焼却作業中の農家のご婦人と立ち話をしました。10年前までは建築資材やバイク、車の不法投棄があったり、人目を避けて自殺する人も後を絶たなかったこと、自宅の軽トラックでゴミの運搬に協力したことなど話していました。公園の中心部に位置していて、市民の農業体験には打って付けの場所ですが、まだ市民の手に渡るのは先になるように思えました。

その畑の脇のフラワー通りを跨ぐ向かい側角に木枠で囲われ、チップで地面が整備されたスペースがあります。まだ赤いコーンで囲われています。何の目的で整備され囲われているのかメンバーに聞いても誰もしりません。畑の落ち葉たい肥場？それとも何？と思いましたがわかりません。中央通りを進んだとこ

ろに、これは駐車場？になりそうな所もありました。公園内の整備状況や今後の展望など、とても楽しみなので、公園課との話し合いでぜひお聞きしてみたいところです。

フラワー通りを進むと道路脇、囲いの外、歩く道沿いにミョウガ、赤しそなどを見つけました。春の野草鑑賞のつぎは夏の和風ハーブ、豊かな自然がいっぱいです。名前がわからずもどかしいのですが、きれいな花が咲きそうな様々な形をした葉っぱもあちこちにありますが、鳥はウグイスとコジュッケのさえずりを確認しました。

緑豊かで癒しのある広い雑木林を手軽に楽しめるカルチャーパークはとても貴重です。市民のボランティアも参加して、末永く維持管理がなされ、風が通り抜けるような雑木林に成長することを夢見ています。』



[6/28 東西通り分岐点北東角]

注記:東西通り分岐点北東角の整備されたスペースは、公園課に問い合わせたところ、キャンプ場利用者のための、臨時駐車場とのことでした。

次は、**水島さん**からの感想です。『信じられない早さでの梅雨明け宣言。危険なほどの猛暑日のニュースの音が耳に残ったままカルチャーパークへ向かいました。

ラジオ体操をただけでもう汗が出てくる感じです。

ゴミ拾い班は7名（応援の人3名を含む）でフラワー通りからスタートしました。

暑さで公園への来園者が少ないせいかゴミはほとんど見つかりませんでした。

狭山線に出たところで、オオブタクサが前月処理しましたがまだ残っているとのこと。早速抜き始めました。

大小、伸びているもの、まだ出始めたものを抜き始めたらしきがありません。

もうこの辺でやめようと思いますが・・・、その葉が見つけるとこれもと・・・、きりがありませんでした。

おかげさまで汗びっしょりとかきました。

湿地に水気はありません、草がぼうぼうと生え暑さも何時ものように中を歩き回る気持ちが起きませんでした。

まあよく汗をかきました。

自転車ところでシャツを着替えながら「ボランティアは社会の為でなく自分の為にするもの

である」と本に書いてあったのを思い出して、自転車のペダルを漕ぎ始めました。』



[6/28 オオブタクサはしつこく]

次は、**三浦さん**からの報告です。『前日、統計以来最早の梅雨明け宣言が発令され、朝から気温が30度の猛暑。この暑さでは、多くは集まらないのではとの予測が外れ、何と総勢21人の多くが集まった。暑さ以上の驚きだ。このうち民間企業からの30代の若者男女7人もあって尚更だ。この民間企業からの参加は3月10日が初めて、以来今日まで6回の活動日に延べ31名も派遣してくれている。社会貢献の一環の参加ながら、企業宣伝になるとの理由から企業名は出せず申し訳ないが、我々の活動に対する助っ人として大変有り難く、「老人貢献」と思えるほどに感謝している。

お陰で林内班は14名とこれまで最多。幾ら直射日光があたらず幾分涼しいとは言っても、風も吹かない暑い中での作業の大変さには変わらない。実を言うと林内には前回、前々回伐採した枝葉や丸太類が運びきれないまま沢山残っており、困っていた。この運搬が一番重労働なので、だから残っていた。

我々にとって大きな負担のこの作業を、精鋭の若者達にお願いすると、快く引き受けてくれ『ホッと』した。その他10人は刈り払い機運転3人、藪や灌木類の伐採、林内に散らばっている枝類を収集など分担。高齢者10人、青年4人のコラボレーションの作業は大きな成果が期待され、終わって見れば道路の端に枝葉や丸太の山がいくつも出来上がり、まさに「人力侮るべからず」の成果だ。その多さは多分市のパッカー車への積み込みの際、こんなに多くの作業をと驚くのではないだろうか。若者と老人のコラボレーションの成果、汗と涙の結晶と笑いめさるな！！

年々老い、体力が衰える身にとって若者達と一緒に活動出来るのは実に楽しい。そればかりか、何かエネルギーを戴いているようで、年齢以上の気力が生まれてくる気がする。この気持ちを正直に若者達に伝えたいところだが、もう少し先にしよう。

2017年6月27日から林内作業を始め今日が5年と1日になる。振り返れば作業の殆どは肉体労働の連続であり、よくぞ今日まで続いたものだ。これが高齢者のボランティア活動か？何時まで続くのか？と疑問視されながら作業を延々続けてきたことを思い出すと自画自賛となるが、老人力の凄さを感じる。

懸念された新規個人参加者も9人増え、企業の参加者延べ31人という実績、地味な活動

が報われたようで、嬉しさとともに自然に感謝の念が湧いた。』



[6/28 よく集めたもんだ]



[6/28 伐採木集約]



[6/28 平日でもちらほらと利用者が]



[6/28 ゴミ集約～林内ゴミも加えて]

~~~~~

**6月の第二作業日(6/14)は、**早朝(4時ころ)雨がパラついていましたがすぐにやんで、ドンヨリした曇り空のやや涼しい作業日和となりました。作業終了後には雨が降り出してしまいましたが…。当日の参加者 19 人。  
第二駐車場のオオブタクサ撤

去とゴミ拾い (7人)。日比田用水調整池周辺のオオブタクサ撤去(12人)。各班、目標達成。

ゴミ班は、林内整備状況を見ながら、第二駐車場～桜木神社～霊園通り～湿地～サッカー場通り～新遠路～。すなわちコース記号は、K-M-N-第二P-A-g-h-b'-W-B-C-U-C-ロー-j-F-m(-l)-n-K(-L)。特記事項、①「湿地」は、わずかな水溜りがありました。②「湿地」入り口付近に車にひかれたと思われる狸があえいでいました。公園課に連絡して対処をお願い。公園課の方が現地赴いたところ、すでにカラスにやられて死んでいて、埋葬したとのこと。③東西通りの、轍による深ぼれの場所は整備中でした。



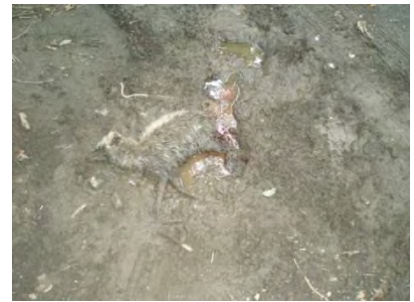
[6/14 集合写真]



[6/14 第二駐車場～作業開始]



[6/14 第二駐車場～作業終了]



[6/14 轍の中の狸]



[6/14 「湿地」の水溜り]



[6/14 ゴミ集約]

以下、**三浦さん**からの報告です。『この日集合したのは初参加者 2 人、企業から 6 人含め 19 人と予想以上の多さ。

班分けはゴミ収集班 8 人、林内班 11 名で 9 時半にはスタートした。

この日の林内班の作業は、何時もの公園内で無く、道路維持課の所管の調整池の周辺のオオブタクサやイタドリの除去である。この場所は、利用者は少ないが、時折通行する人もおり、以前から巡回とゴミ収集をしてきた。詳しくは(株)大空リサイクルセンターの高い擁壁の下を通り、所沢かがやきの里という老人福祉施設へと向かう通りで、その途中に調整池がありフ



エンスで囲まれている。その分岐点周辺は、夏になると一帯はオオブタクサやイタドリ等が大きく成長して覆われて、通行もままならない閉塞状態になる場所。最初は人力で抜いたり刈り払い機で刈ったりしていたが、オオブタクサの強靱な生長力に追いつかず、放置すると年々規模が広がり、背丈も3mにも達し我々の手には負えない状態になってしまう場所だった。昨年は余りの酷さに所管の道路維持課へ依頼し請負工事に対処して貰い解決した。今年も同課に依頼して対処して貰おうかと考えたが、予算が無いから無理と言われればそれまで。大きく成長してからでは昨年の二の舞になりかねないとの判断から、急遽、作業場所を変更し、この日の挙行となった。

いざ現地に着いてみると、案の定、オオブタクサは胸以上の高さに、上空はイタドリが斜面上から垂れ下がり完全に閉塞状態になっており、通行不能状態になっていた。それを11人で分担、4台の刈り払い機で地上部の草刈り払い、オオブタクサの全ては人力による引き抜き、イタドリは鎌や刈り込み鋏、剪定鋏で剪定をした、休憩を含め1時間半かかったが何とか目処がついた。終了直前小雨も降ってきたので作業を打ち切った。

なおこの作業は事前に道路維持課に連絡せず、こちら側の思惑で急遽決めたことから、同日道路維持課に連絡し、急遽決め

た事情とこれまでの経緯を説明し事後承諾を得た、また事情を知った職員からお礼の言葉があった事を申し添えたい。』



[6/14 始めるぞ～]



[6/14 作業を終えて]

~~~~~

6月の臨時作業日(6/19)は、

未明までの雨が上がり、梅雨の中休みの強烈な晴れ間で、御日様がキラキラ。

参加者は6名。ゴミ班2名(のち1名林内班へ)。林内班4名。林内班は、築山広場の西側・北側で、主に刈り払い機による草刈り。

ごみ拾いは、東西通りを折り返し、中央通りから新園路を

「湿地」に向かい、霊園通りを廻って、桜木神社通りから第二駐車場へ出ました。すなわちコース記号は、イ-K-L-1-F-1-L-j-i-ロ-C-U-C-B-W-b' -b-g-A-d-N-K。特記事項は、①「湿地」は、湿り気はありましたが、水たまりは出来ていませんでした。②桜木神社通りは相変わらず、投げ込みゴミがありました。

③築山遊具も、キャンプ場も、デイ還付場も、グラウンドも、林内サッカー場も、人でいっぱいでした。



[6/19 集合写真]



[6/19 賑わい-その1]



[6/19 賑わい-その2]



[6/19 賑わい-その3]



[6/19 林内作業-80歳の訪問者]



[6/14 ゴミ集約]

以下、三浦さんからの報告です。『最高予想気温 30 度、やや曇り、朝からジツとりの蒸し暑さの中、集まったのは初の参加者 1 人を加えて 6 人と一寸

少なかった。

9 時頃には気温が 24 度、日射しも強く一寸動いただけで汗ばむ陽気の中、挨拶言葉は「今日は暑いね！」から始まった。

一方、原っぱ広場では、休日とあってかなりの数の利用者が来ており賑わっていた。

林内作業班は 4 人、ゴミ収集班 2 人の構成でスタート。フレキシブルな対応が我々の強み。

林内班は、刈り払い機運転 3 人、片付け 1 人の態勢となった。林内と U 字溝周辺の刈り払い、林内の枯れ木集めと運搬など約 1 時間半作業し、一寸早めに作業を終えた。休日の作業は 5 月に続き 2 回目。若い子育て世帯利用者が圧倒的に多いせいか、今日も爺婆の活動には余り興味を持ってくれなかった。』

7月の作業予定

定例作業日: 7 月 26 日(火)、
第二作業日: 7 月 12 日(火)

7 月は臨時作業日を設定しません。

作業時間: 9:30~11:30

作業内容: ごみ拾い・林内作業

* 持ち物: 手袋、タオル、
雨具、飲み物、

念のため、保険証・お薬手帳など

* 荒天など天候不順の場合は、事前に中止連絡しますが、微妙な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで[090-8014-3310]連絡下さい。

新型コロナ発生時の対応策

① 毎回参加者名簿(連絡先電話番号入り)を作成し、代表が保管する。

② 次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)

イ. 症状があり、医師から検査を指示された場合。

ロ. 検査を受けた時。

ハ. 検査結果と医師・保健所の指示

③ 陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

新型コロナの予防措置として、 以下を基本とします。

- ・ 間隔をとっての行動。(体操・作業)
- ・ マスク着用: ただし、息苦しくなったら、他から距離をとって外し、深呼吸。

夏場は、無理な着用をしない。

- ・ 作業間隔の短縮・水分補給。
- ・ 使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。

なお、石鹼・消毒用アルコールは準備しています。

- ・ 当面定例作業日の食事会の休止。

年間作業予定日

7/12(火)、7/26(火: 定例)、8 月は現場作業を休止します。 8/30(火) 応援隊懇談会を実施します**

9/13(火)、9/27(火: 定例)、10/11(火)、10/25 火: 定例)、11/10(木)、11/29(火: 定例)、

12/13(火)、12/20(火) 応援隊懇談会を実施します** 1/12(木)、1/31(火: 定例)、

2/14(火)、2/28(火: 定例)、3/14(火)、3/28(火: 定例)、

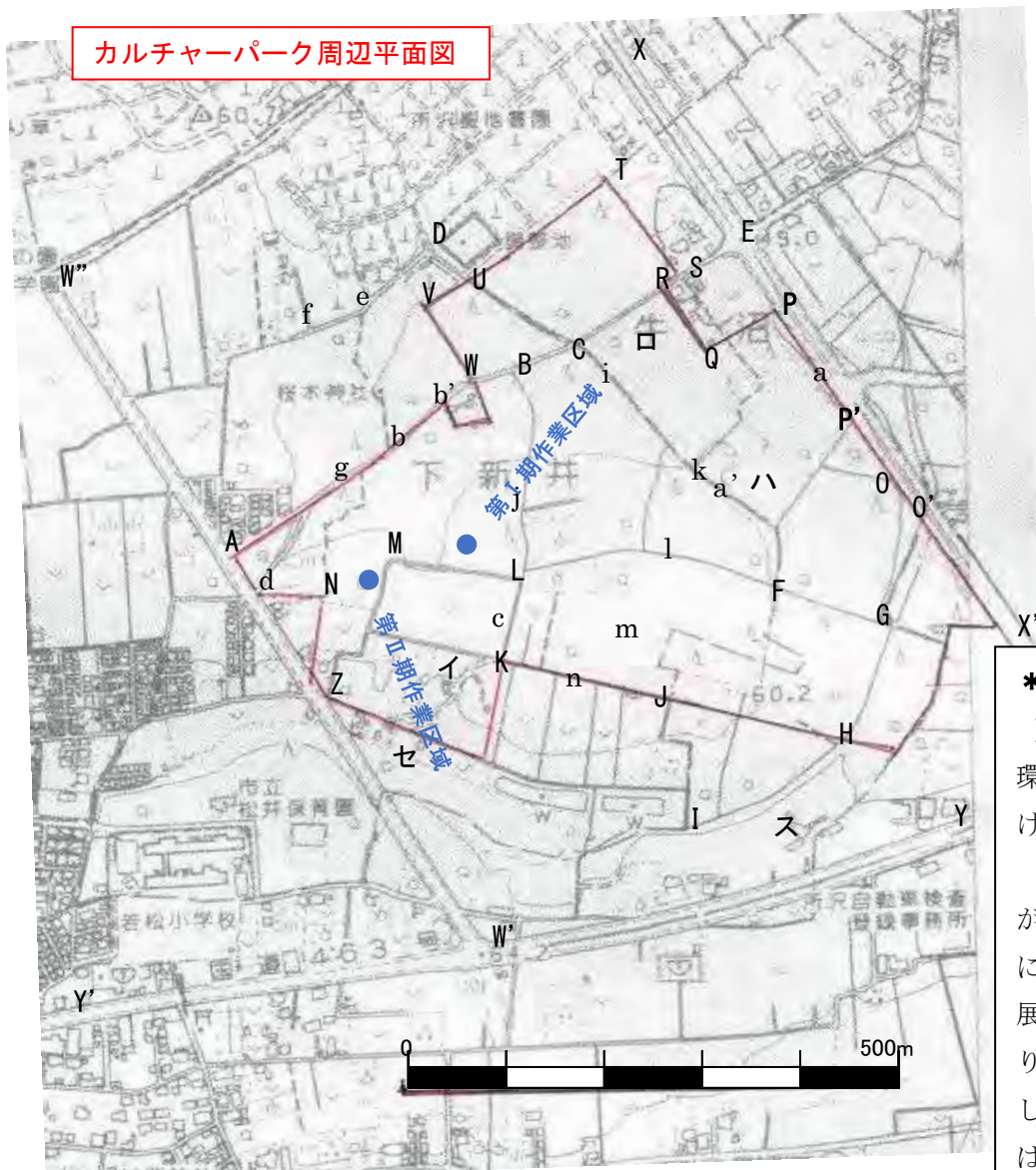
3/未定: 応援隊総会的懇談会

* 臨時作業日(主にゴミ拾いなど)。9 月以降の日曜作業設定は、8/30 の懇談会で検討する。

** 懇談会実施日は、現地作業は行いません。

8/30 応援隊懇談会 10:00~12:00 生涯学習推進センター 102 会議室

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

地点名	イ	現在のデイキャンプ場
	ロ	湿地
	ハ	現在のサッカー場
	セ	特養、グループホーム
	ス	産 廃
	E	交差点「開発」
	W'	交差点「牛沼」
通り名	X-E-X'	県道東京狭山線
	W''-A-W'	市道 カルチャーパーク通り
	Y-W'-Y'	国道
園内通り名 (仮称の たたき台です)	A-B-C-E	桜木神社通り
	D-C	霊園通り
	C-F	サッカー場通り
	B-L-K	中央通り
	L-F-G	東西通り(L-F:フラワー通り)
	G-H	東通り
	K-J-I	農道
	I-H	産廃裏通り

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。
皆さんからの御意見をお寄せください。

***この「応援隊」は**

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

「所沢カルチャーパーク」が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広げています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。

***お願い**

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。